

総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会小委員会の設置について

小委員会名：工学システムに対する安心感等検討小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>本小委員会は新設である。「工学システムに対する安全・安心・リスク検討分科会」では、第23期までに「安全」や「リスク管理」に関する小委員会活動を行ってきたが、これまでの分科会や小委員会における検討の中で、工学システムの「安全」や「リスク管理」の論理面だけでなく、工学システムが関係者や社会に与える「安心」あるいは「安心感」の必要性が明らかになった。</p> <p>「安心感」「快適感」等「感性」に関する研究の歴史はまだ浅い。「感性工学」の創設は約50年前、日本感性工学会の設立は約25年前、Massachusetts Institute of TechnologyのRosalind W. Picardが“Affective Computing”を著したのも約20年前である。日本学術会議でも約10年前に小委員会で「現代社会における感性工学の役割」が取り纏められた。しかし昨今、世界的にも注目が集まっており、今回、新たな側面から検討する。検討に際し、総合工学の強みを生かし、他国に先駆け、「感性」の課題を本質的により深く探るために必要な事項について議論し情報発信することを目指す。</p>
4	審議事項	<p>1. 各工学システムにおける「安心感」の明確化（「安全」との関係）</p> <p>2. 各工学システムにおける「快適感」等の感性の明確化に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	時限設置 平成30年1月25日～平成32年9月30日
6	備考	※24期にて初設置